

**【参考資料】**

**長野県内の有毒植物による食中毒発生状況（昭和51年～平成30年）**

県内の有毒植物による食中毒は、昭和51年から平成30年までの間に20件（患者数80名）発生しています。その内訳は下表のとおりとなっており、いずれも食べられる山菜だと思い、これらの有毒植物を食べたことにより発生しています。

原因となった有毒植物の種類	食中毒発生件数	発生年	患者数	死者数	症状	間違えやすい山菜
スイセン	4	H28(2), H29(2)	28	0	吐き気、おう吐	ニラ、ノビル
バイケイソウ、 コバイケイソウ	4	H6, H5, H17, H28	12	0	おう吐、下痢、 血圧降下、痙攣	オオバギボウシ（ギボウシ）、 ギョウジャニンニク
ハシリドコロ	4	S63, H6, H8, H11	9	0	おう吐、下痢、血便、 幻覚、目まい	フキノトウ、 オオバギボウシの新芽
トリカブト	3	S58, S63, H13	16	0	おう吐、下痢、 手足や指の麻痺	ニリンソウ、モミジガサ、 ヨモギの若芽
チョウセンアサガオ	2	S52, H15	7	0	口の渇き、瞳孔散大、 意識混濁、頻脈	ゴボウ
シュロソウ	1	H14	2	0	おう吐、歩行困難	オオバギボウシ
マムシグサ	1	H20	3	0	舌のしびれ、喉の痛み	
カラーの根茎	1	H22	3	0	食道の違和感、痛み、 灼熱感	キクイモ
合計	20		80	0		

（間違えやすい植物の例）



左：ニラ

右：スイセン



左：オオバギボウシ

右：バイケイソウ

— 確かな暮らしが営まれる美しい信州 —  
学びと自治の力で拓く新時代

（しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）推進中）



【長野県は「SDGs未来都市」です】

健康福祉部 食品・生活衛生課 食品衛生係  
（課長）吉田 徹也（担当）福井 秀樹 飯塚 春彦  
電話 026-235-7155（直通）  
026-232-0111（内線 2661）  
FAX 026-232-7288  
E-mail shokusei@pref.nagano.lg.jp

健康福祉部 薬事管理課 麻薬毒劇物係  
（課長）太田 靖（担当）大蔵 直樹  
電話 026-235-7159（直通）  
026-232-0111（内線 2676）  
FAX 026-235-7398  
E-mail yakuji@pref.nagano.lg.jp

SDGs（持続可能な開発目標）は、美しく、誰もが安心して暮らし続けられる社会をめざし、世界みんなで取り組む目標です。